

**2026年3月期
中間期 決算説明会**

**2025年11月13日
タカラバイオ株式会社**

本日の内容

- **2026年3月期 中間期 連結業績**
- 各事業の状況
- 2026年3月期 通期 連結業績予想（修正）

2026年3月期 中間期 連結業績

(百万円)	26/03期	前期比	期初予想比 (5/13)
売上高	18,794	▲963 ▲4.9%	▲2,505 ▲11.8%
売上総利益	10,564	▲1,880 ▲15.1%	▲1,820 ▲14.7%
販売費 一般管理費	12,907	+878 +7.3%	▲927 ▲6.7%
営業利益	▲2,342	▲2,759 -	▲892 -

研究開発費	3,497	+15 +0.4	▲59 ▲1.7
-------	-------	-------------	-------------

営業利益の増減要因 (百万円) (前期比)

売上数量減少	▲365
売上構成差	▲1,232
為替変動影響	▲283

売上総利益の減少 ▲1,880

研究開発費の増加	▲15
その他経費の増加	▲665
為替変動影響	▲198

販管費の増加 ▲878

営業利益の減少 ▲2,759

2026年3月期 中間期 連結業績： 分野別 売上高

	売上高	前期比	期初予想比 (5/13)
(百万円)			
試 薬	14,272	▲1,133 ▲7.4%	▲1,746 ▲10.9%
機 器	402	▲23 ▲5.6%	▲292 ▲42.1%
受 託	2,546	+271 +12.0%	▲477 ▲15.8%
再生医療等 製 品	1,622	+658 +68.3%	+6 +0.4%
遺 伝 子 解 析 / 検 査 そ の 他	923	▲386 ▲29.5%	▲483 ▲34.4%
遺 伝 子 医 療	1,573	▲78 ▲4.7%	+10 +0.7%

前期比
試薬： ライフサイエンス研究市場の世界的な低迷が続く中、米国政府による研究助成金削減、中国経済低迷などが加わり減収 機器： シングルセル解析システム(米国)PCR関連装置(日本)の販売減により減収 再生医療等製品関連受託： ベクター製造受託や品質試験受託が増加したことにより増収 遺伝子解析/検査関連受託： 大型予算の動きが低調で、ゲノム解析受託の受注減により減収 遺伝子医療： AM製品(mRNAワクチン関連製品)は伸長したが、RetroNectin®の販売減により全体では減収

2026年3月期 中間期 連結業績： 試薬事業 地域別外部売上高

(百万円)	26/03期	前期比		
		増減	うち為替 影響額	現地通貨 増減率
日 本	2,771	+73	-	+2.7%
米 国	6,844	+63	▲182	+3.6%
欧 州	1,756	+110	▲23	+8.1%
中 国	1,927	▲1,386	▲58	▲40.1%
韓 国	572	▲22	▲46	+4.1%
印 度	398	+27	▲25	+14.3%
合計	14,272	▲1,133	▲335	▲5.2%

前期比(現地通貨ベース)

＜日本＞ アカデミアを中心に市況の伸びがなく、研究用試薬の売上停滞が続くが検査キットが増収

＜米国＞ 政府の政策の影響を受け、基礎研究全体が低調の中、B2Bで増収
Spatial製品は引き合い数は増加しているものの、受注数が増えず

＜欧州＞ OEM/カスタム製品が好調

＜中国＞ 競争激化と代理店網変更に伴う在庫調整により研究用/カタログ、OEM/カスタム製品ともに大幅減収

＜韓国＞ 政府の研究費予算の支給遅延の影響で購入控えが発生

＜印度＞ NGS関連試薬の売上増加により増収

本日の内容

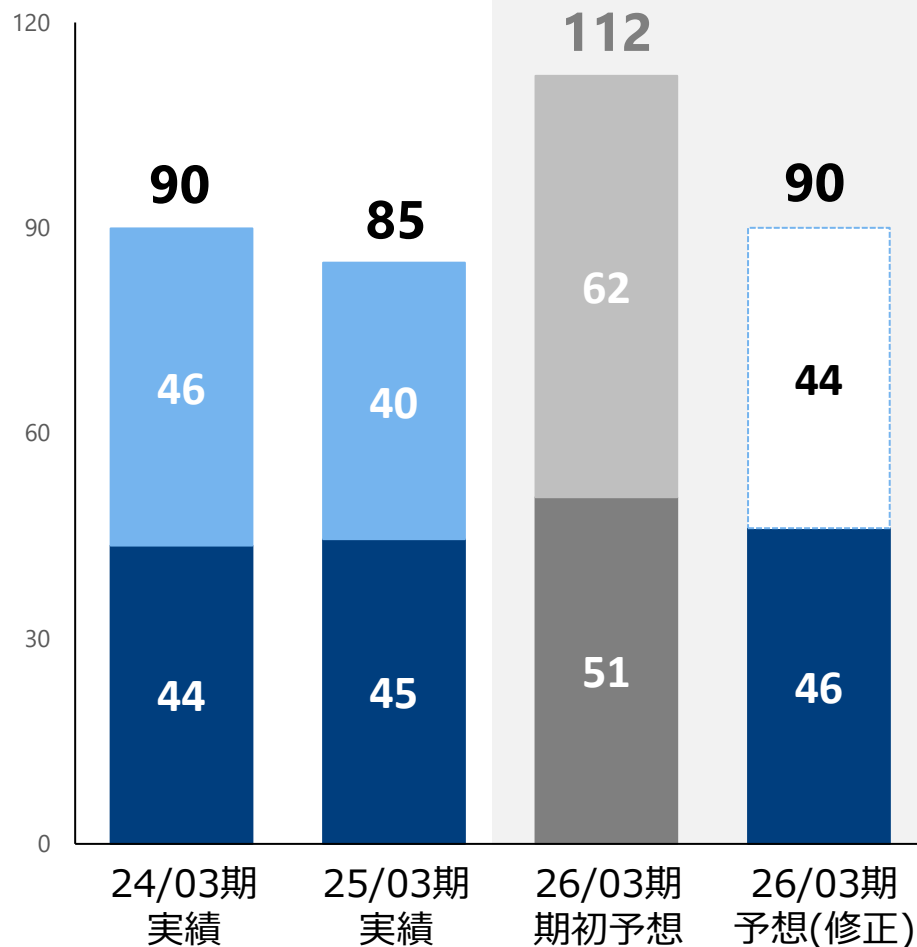
- 2026年3月期 中間期 連結業績
- **各事業の状況**
- 2026年3月期 通期 連結業績予想（修正）

試薬事業

試薬事業 (米国)

米国売上高

(百万USD)



課題

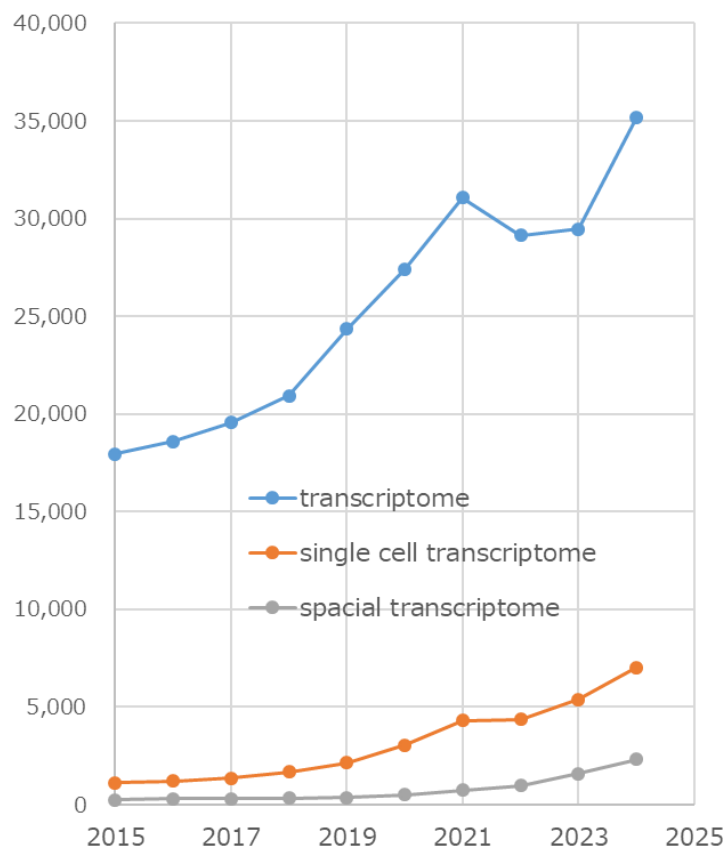
- 買収した Curio Bioscience 社関連のコスト：Spatial関連製品の拡販と既存 NGS(Next Generation Sequencing) 製品とのシナジーで吸収
- 政府研究開発予算の削減の影響最小化：B2Bへのさらなるシフト
- 政府の追加関税政策：日本での製造拡大で回避

通期状況

- 政府予算削減の影響を大きく受け、Spatial製品の拡販が進まず
- 10月以降、政府予算が議会を通過せず、政府機関の機能停止で売上に打撃
- 一部ベンチャーの活動低下はあるが、B2Bは堅調
- 関税影響は最小限に抑制

Curio Bioscience社買収に関して

学術論文数の推移



- 2026年3月期は買収によって約20億円の経費増を見込む。
- Spatial解析は、トランスクリプトーム解析やシングルセル解析に続くNGS応用の新たな成長領域であり、遺伝子発現を空間情報と統合的に捉える技術として、研究・診断分野の双方で急速に市場が拡大している。Curio社買収で得た技術は、マルチプラットフォーム・マルチオミクスに対応できる汎用技術
- 米国中心にSpatial新製品の当社グループのグローバル販売網での拡販を見込んでいたが、米国の研究助成金の削減などによる研究市場の低迷が想定以上であり、Spatial製品の売上が伸び悩み、グループ売上予算20億円に対して、達成率30%の見込

相互関税の影響

欧州(ヨーホーリ)

- 米国向け製品の一部を製造
- 欧州内向けOEM/カスタム製品の製造を拡大

米国(サンバ)

- 中国向け製品製造を日本へシフト
- 米国内向けOEM/カスタム製品の製造を拡大

中国(大連)

- 輸出向け製品製造を縮小し、原料製造にシフト
- 中国内向け製品開発・製造を拡大

日本(草津)

- 米国および日本向け原料/製品の製造を拡大
- 米国製造していた中国向け製品を製造

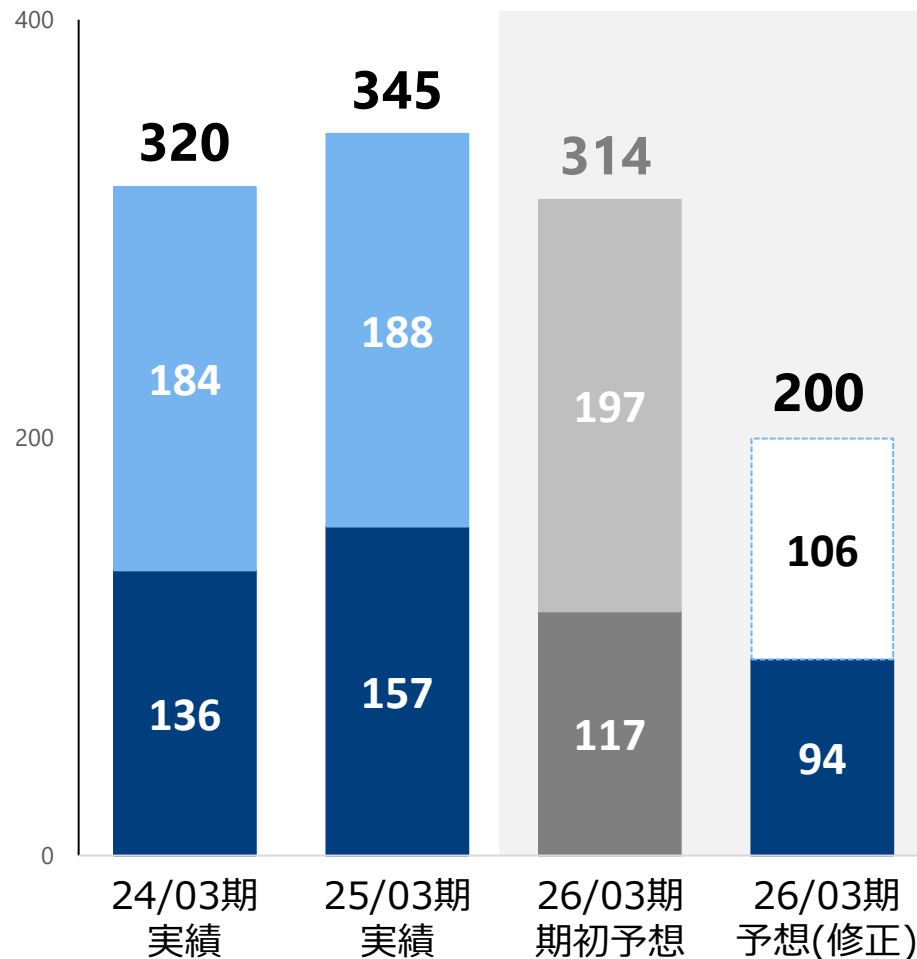
日本での製造を大幅に拡大し、対応を完了。
今年度影響額を約3億円にとどめる。
来年度以降は、構築した体制を臨機応変に活用し、
影響の最小化を図る。



試薬事業 (中国)

中国売上高

(百万円)



課題と施策

- 基礎研究市場縮小に加え、中国企業との競争激化：代理店網再構築、中国独自の開発によりシェア確保
- B2B顧客の開拓：CROへのNGSやSpatialの拡販

通期状況

- 競合各社が大幅値引きなどとしてきており、デフレ環境下で苦戦を強いられている
- カスタム対応のスピードで差をつけられている
- 技術的優位な製品でのOEM/カスタムに注力しているが、セールスサイクルが長く貢献度は低い

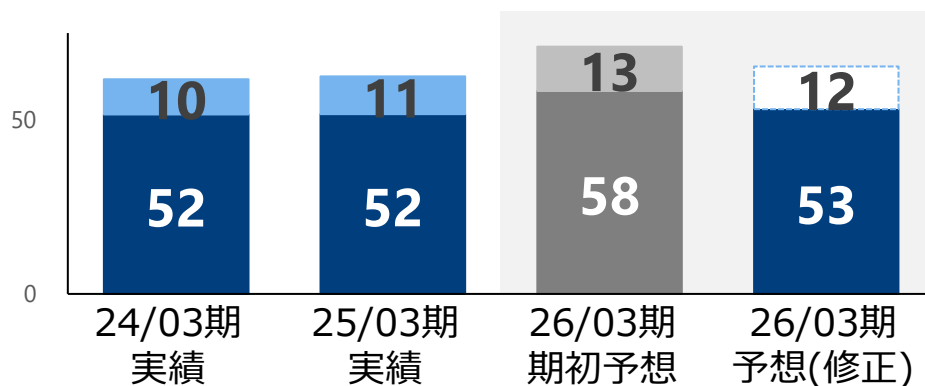
試薬事業 (日本)

試薬事業(日本)売上高

(億円)

□ アプリ分野

■ 一般研究用

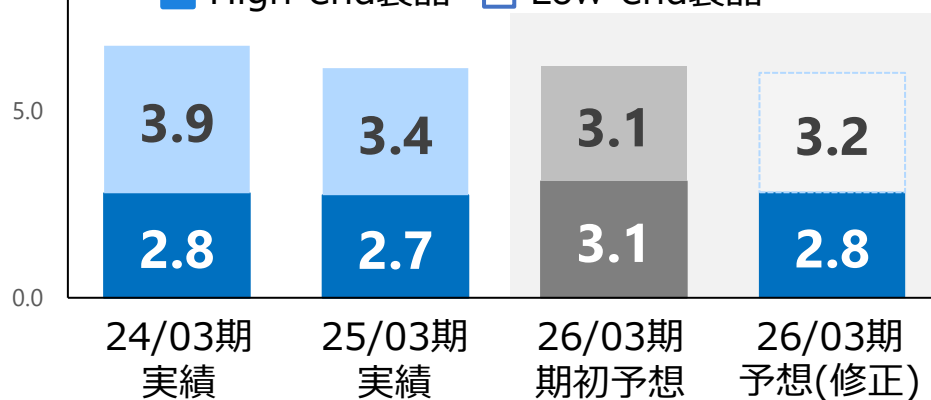


PCR関連酵素単品売上高

(億円)

■ High-end製品

□ Low-end製品



課題と施策

- PCR中心に一般研究用試薬の売上停滞：アプリフィールド（検査分野）製品および、mRNAワクチン用
- アカデミア依存体質からの脱却：B2Bカスタム/OEMの商談獲得
- 製品群の陳腐化：Spatial新製品を軸に、NGS製品の拡充と拡販

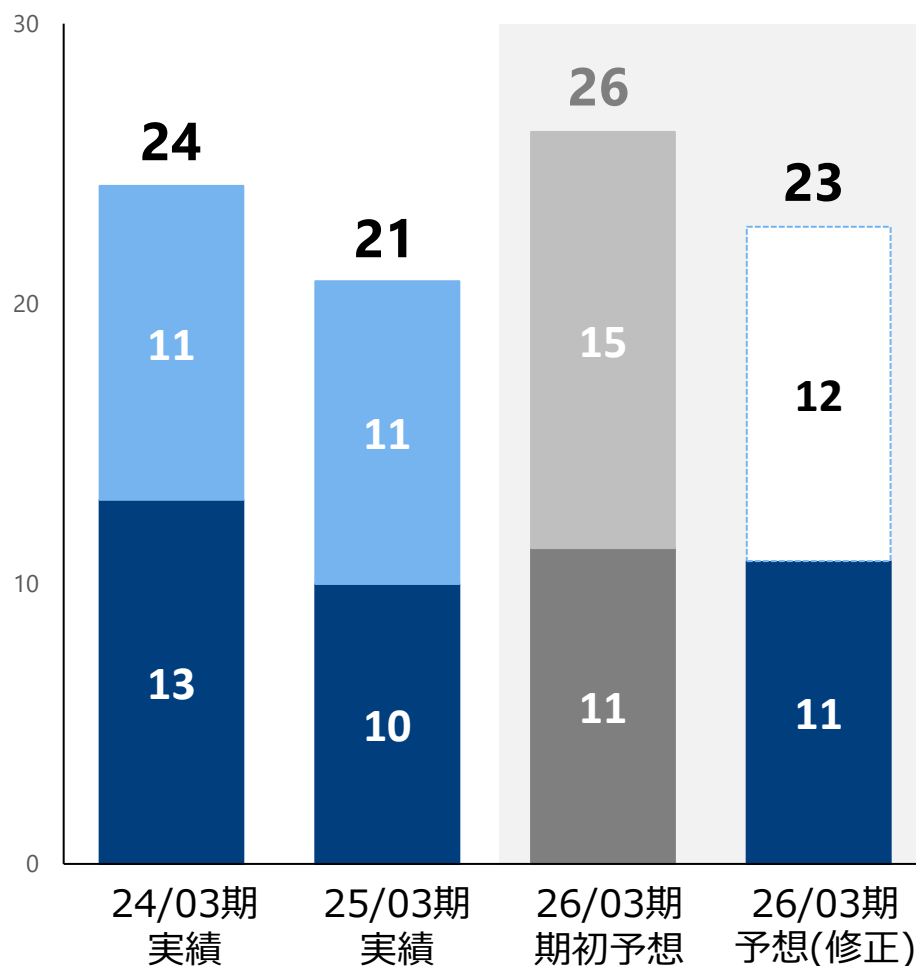
通期状況

- 一般研究用試薬はほぼ前期並み
- 食中毒検査分野関連の売上は堅調だが、新規注力している動物・家畜検査関連の売り上げが不足
- 感染症などのB2B商談複数だがまだ小規模
- Spatial製品の売り上げは計画未達、解析受託も併せてプロモーション

試薬事業 (欧州)

欧州売上高

(百万EUR)



課題と施策

- ・ インフレ、地政学リスクの影響による市場低迷：Business DevelopmentチームによるB2B商談の創出
- ・ スウェーデンサイトの有効活用：B2B向けPCR酵素の製造の立ち上げ
- ・ Spatial新製品の拡販：NGS専門セールス担当によるSpatial製品の早期市場導入とシナジー効果の最大化

通期状況

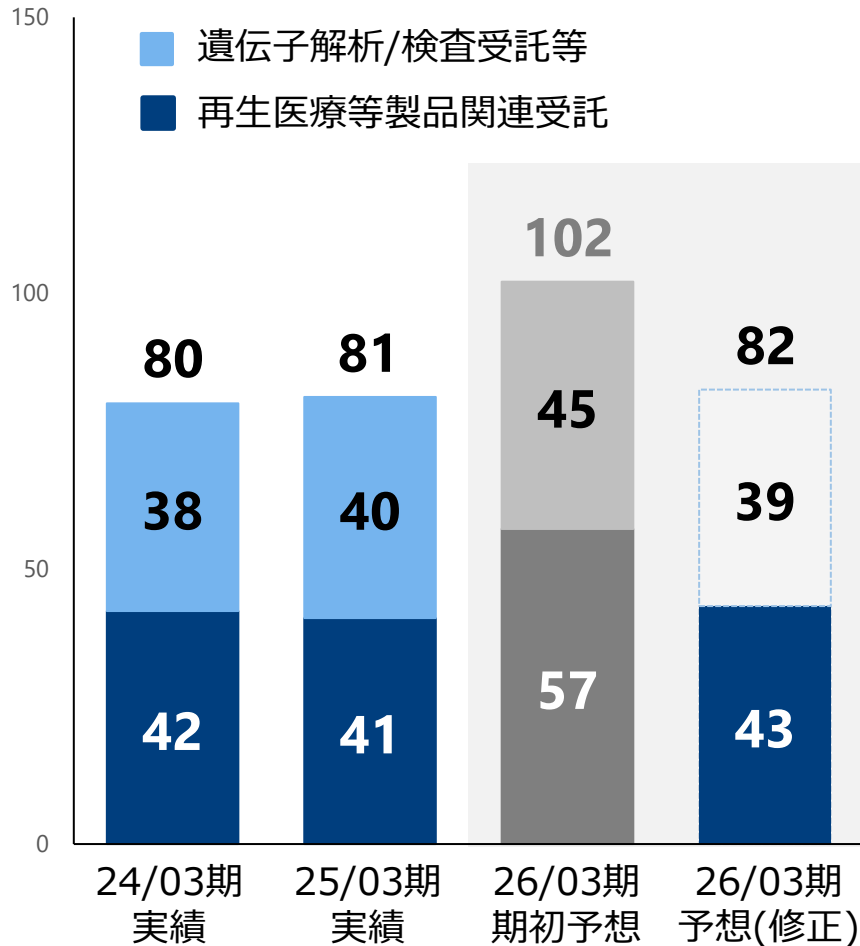
- ・ 市場回復のスピードは依然遅いが、主力NGS製品の売上に安定傾向が見られる
- ・ mRNAワクチン用酵素の商談が複数進行中
- ・ 米国関税対策でスウェーデンサイトも製造の一部を分担

受託事業 (CDMO事業)

受託事業

受託事業 売上高

(億円)



課題と施策

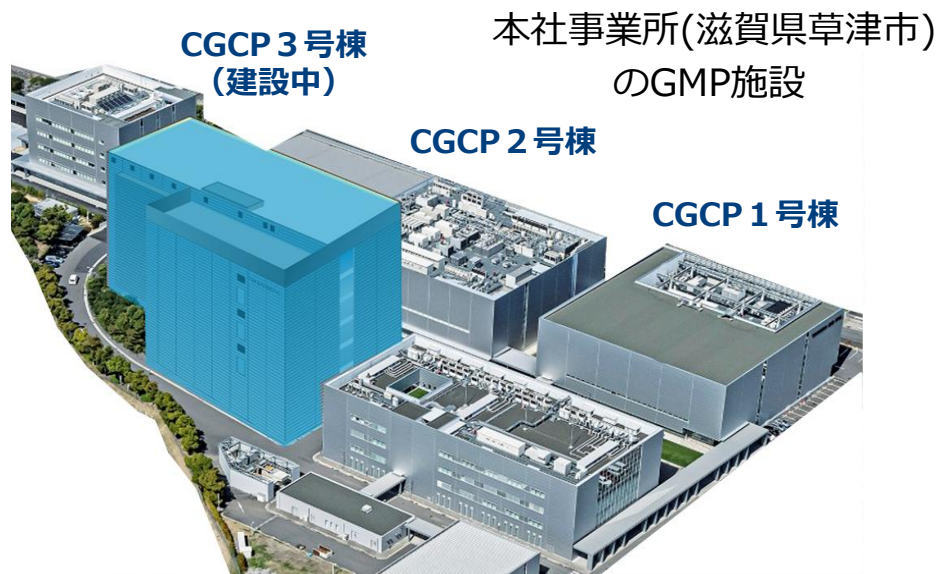
- 細胞加工・ベクター製造の安定稼働と効率的運用：初期開発プロジェクトへの対応を強化し大型案件への依存度を下げてリスク分散
- ゲノム解析の競争激化による収益悪化への対応：Spatial製品を用いた空間解析やシングルセル解析等の付加価値の高い新規受託メニューを拡充。

通期状況

- 政府支援によるベンチャー、スタートアップなどからの小・中規模の受注を数多く獲得するが、業務平準化が課題
- ViSpot社のウイルスクリアランス試験、ウイルス否定試験を安定的に受注
- Spatial解析受託の商談拡大
- 大口のゲノム解析は低価格化が進み価格が合わず失注

特別損失の計上について

CDMO事業で増設を進めてきた設備のうち、CGCP 2 号棟の大型・並行細胞加工設備およびウイルスベクター大量培養（2000L）・精製設備について、減損損失約39億円を特別損失として計上



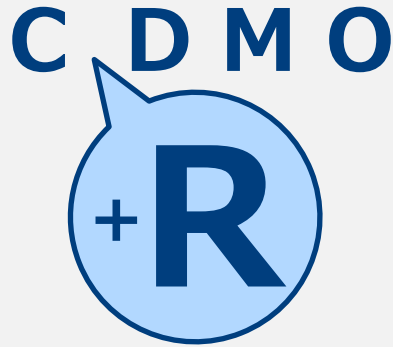
GCCP 3 号棟（2027年竣工予定）

- ・ 経済産業省の支援によるワクチン製造拠点と部素材製造拠点の役割を持つデュアルユース施設
- ・ 小回りの利く中規模設備（細胞・ウイルス・mRNA・タンパク）

特別損失の背景と今後の方向性

- ・ 再生・細胞医療・遺伝子治療分野での大規模な製造需要を見込んでの先行投資であったが、大手製薬が開発中止するなどトレンドが変化
- ・ 政府のベンチャー支援の効果もあり、遺伝子治療用ウイルスや医療用タンパクの小・中規模(50Lレベル～)製造の需要が旺盛であり、大規模製造を想定した施設から、開発初期より少量/局所投与をターゲットとする小・中規模製造へシフト
- ・ CGCP 1 号棟（小規模）と建設中のCGCP3号棟（中規模）を活用

当社独自のプラットフォーム技術を活用し C'R'DMO戦略を推進



Spo-T™、CereAAV™、SonuAAV™等の独自のプラットフォーム技術やTBI-1301等の臨床開発の経験を活かし、将来の開発(D)・製造(M)を見据え、開発初期(R)からクライアントに伴走する包括的支援サービスを提供

- 独自のプラットフォーム技術や臨床開発プロジェクトの経験を、クライアントの開発シーズへ提供できるのが当社の強み
- 将来の開発(D)・製造(M)を見据え、開発初期(R)からクライアントに伴走する包括的支援サービスを提供

プラットフォーム技術

CereAAV™

- ・ 静脈投与で脳血液関門(BBB)を通過
- ・ 脳への高効率遺伝子導入と肝毒性の回避を実現

SonuAAV™

- ・ 内耳組織への高効率遺伝子導入が可能
- ・ 難聴モデルマウスで聴力改善を確認

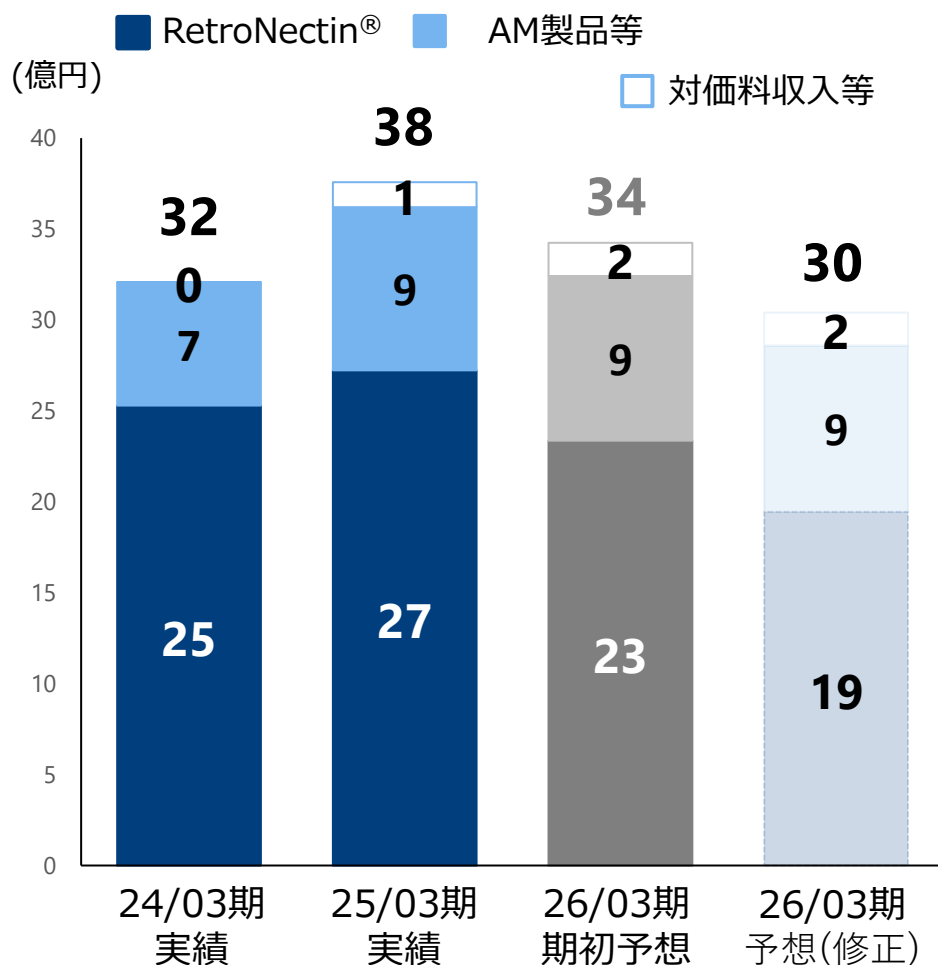
Spo-T™法

- ・ 高品質CAR-T細胞の短期間製造法を開発
- ・ 製造コスト低減と有効性向上を実現

遺伝子医療事業

遺伝子医療事業：品質管理体制の堅牢化と 高付加価値な新規AM製品の開発を推進

遺伝子医療分野 売上高



課題と施策

- RetroNectin®、リンパ球培養用培地に続く、AM製品の開発：マーケティングと開発プロジェクトの推進
- mRNAワクチン製造用GMPグレード酵素の拡販：海外子会社のBusiness Developmentチームと協業
- TBI-1301 承認取得：治験の早期組み入れ

通期状況

- mRNA合成酵素ラインアップの拡充 (High Qualityグレードは7種類、GMPグレードは4種類を販売中)、製薬メーカーとの商談展開
- TBI-1301検証的試験の治験計画書提出

遺伝子医療事業：TBI-1301プロジェクト NY-ESO-1・siTCR[®] 遺伝子治療薬の開発を推進

- 2018年3月27日 厚生労働省「先駆け審査指定制度」の対象品目に指定
- 2020年6月17日 滑膜肉腫を対象とした希少疾病用再生医療等製品に指定
- 2025年5月13日 （当初は、条件期限付承認取得を目指していたが）検証的試験を実施して本承認を目指す計画に変更
- 2025年9月16日 治験計画届書を医薬品医療機器総合機構（PMDA）に提出し、所定の調査が完了

検証的試験の概要

治験課題名	NY-ESO-1抗原陽性滑膜肉腫に対するTBI-1301（一般名：mipetresgene autoleucel ; Mip-cel）の多施設共同試験
治験の相	第Ⅲ相
対象疾患	外科的切除が不能な進行または再発滑膜肉腫
治験デザイン	非対象・多施設共同
目標症例数	5 例

臨床試験の情報： 日本語 jRCT番号：jRCT2073250089 英語 ClinicalTrials.gov番号：NCT07174427

本日の内容

- 2026年3月期 中間期 連結業績
- 各事業の状況
- 2026年3月期 通期 連結業績予想（修正）

26/03期 通期連結業績 売上 予想(修正)

(百万円)	通期予想 (修正)	前期比	期初予想比 (5/13)
売上高	42,100	▲2,939 ▲6.5%	▲10,400 ▲19.8%
試薬	29,731	▲2,263 ▲7.1%	▲7,371 ▲19.9%
機器	1,081	▲90 ▲7.7%	▲686 ▲38.8%
受託	8,245	+132 +1.6%	▲1,958 ▲19.2%
遺伝子医療	3,040	▲717 ▲19.1%	▲383 ▲11.2%

売上高 前期比

試薬：日/米/欧/韓国/印度は前期比増を見込むものの、中国は前期代理店網変更に伴う在庫調整、中国経済不況、中国国内企業との競争激化により前期比大幅減。

機器：シングルセル解析システムの販売減少などにより前期比減。

再生医療等製品関連受託：ベクター製造受託は減少するものの、細胞加工受託や品質試験受託の増加を見込み増収。

遺伝子解析/検査関連受託：大型予算の動きが低調で、ゲノム解析受託の受注減の影響を見込み減収。空間解析、シングル解析、レパトア解析などは、新規受託を増やし増収

遺伝子医療：AM製品の販売は伸長するものの、欧米のRetroNectin®の需要減を見込み減収。

26/03期 通期連結業績 予想(修正)

(百万円)	通期予想 (修正)	前期比	期初予想比 (5/13)
売 上 高	42,100	▲2,939 ▲6.5%	▲10,400 ▲19.8%
売 上 原 価	20,208	+1,236 +6.5%	+2,266 ▲10.1%
売上総利益	21,891	▲4,175 ▲16.0%	▲8,133 ▲27.1%
販売費及び 一般管理費	25,891	+2,087 +8.8%	▲1,633 ▲5.9%
営 業 利 益	▲4,000	▲6,263 -	▲6,500 -
経 常 利 益	▲4,400	▲6,992 -	▲6,900 -
親会社株主 に帰属する 当期純利益	▲9,000	▲10,041 -	▲10,300 -

販売費及び一般管理費：

Curio Bioscience社の買収に関する費用、のれん償却費は想定内。人員体制の見直し、研究開発の選択と集中、管理費の削減に努める結果、258億9,100万円の見込

営業利益：

▲4,000百万円の見込

経常利益：

期初予想では販売費及び一般管理費に見込んでいたCurio Bioscience社買収に関する条件付き対価の時間的価値の変動額440百万円を営業外費用として見込むことにより▲4,400百万円の見込

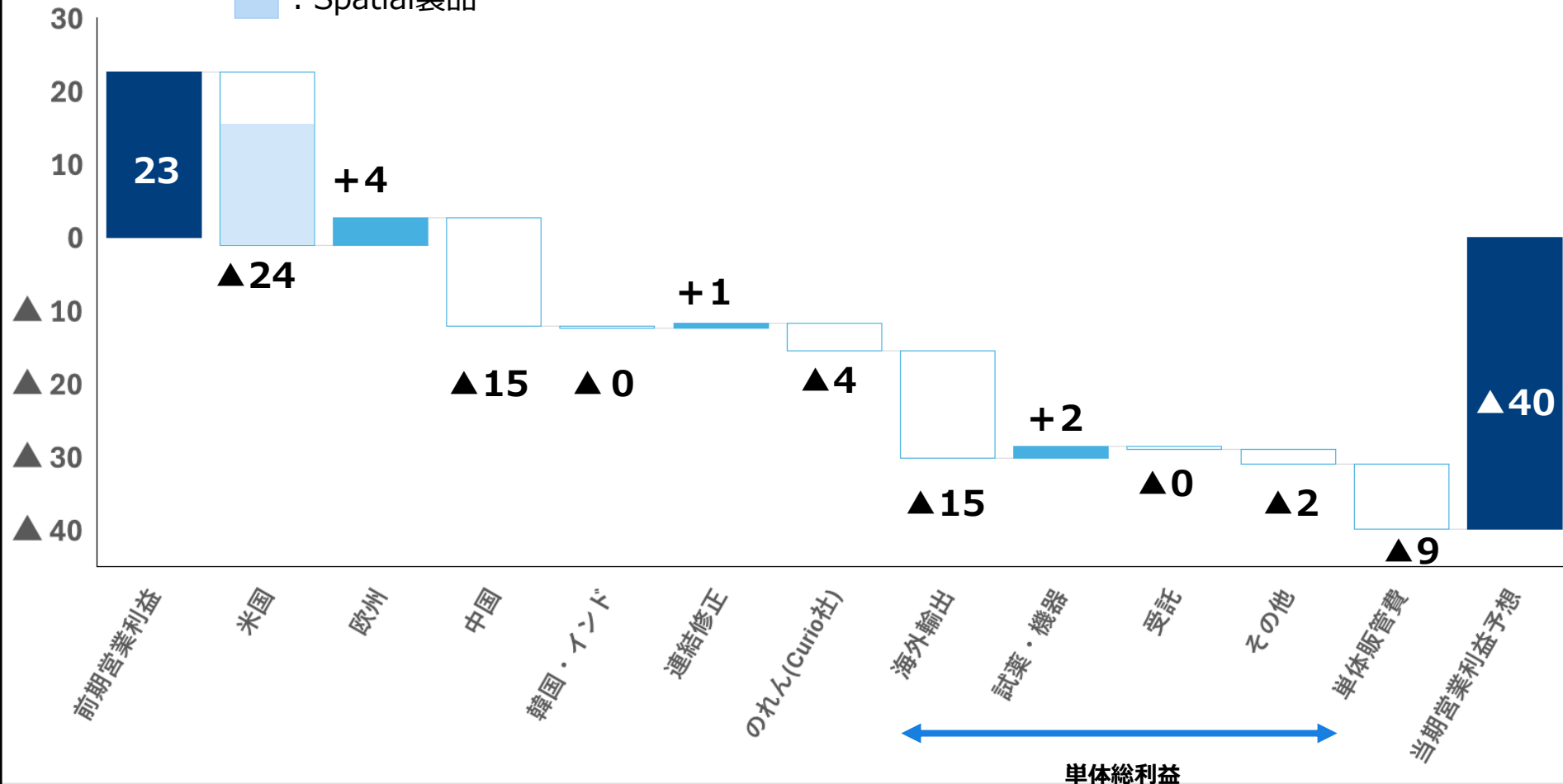
親会社株主に帰属する当期純利益：

受託製造設備の減損損失として3,870百万円の計上、繰延税金資産の一部取り崩しにより、▲9,000百万円の見込

営業利益増減要因分析（前期比）

（億円）

■ : Spatial製品



26/03期 通期連結業績 予想(修正)

(百万円)	通期予想 (修正)	前期比	期初予想比 (5/13)
売上高	42,100	▲2,939 ▲6.5%	▲10,400 ▲19.8%
試薬	29,731	▲2,263 ▲7.1%	▲7,371 ▲19.9%
機器	1,081	▲90 ▲7.7%	▲686 ▲38.8%
受託	8,245	+132 +1.6%	▲1,958 ▲19.2%
遺伝子医療	3,040	▲717 ▲19.1%	▲383 ▲11.2%
売上総利益	21,891	▲4,175 ▲16.0%	▲8,133 ▲27.1%
営業利益	▲4,000	▲6,263 -	▲6,500 -
研究開発費	7,106	+208 +3.0%	▲576 ▲7.5%

売上高 期初予想比

試薬：米国政府による研究助成金削減に加え、10月の政府機関閉鎖の影響や中国経済不況、中国国内企業との競争激化などで大幅未達の見込（Spatial製品は下半期に大きな伸びを見込んでいたが大幅未達の見込）

機器：シングルセル解析システムの販売減少などにより未達の見込

再生医療等製品関連受託：再生・細胞医療・遺伝子治療の市況が伸びず、新規受注の未達の影響が大きく、未達の見込

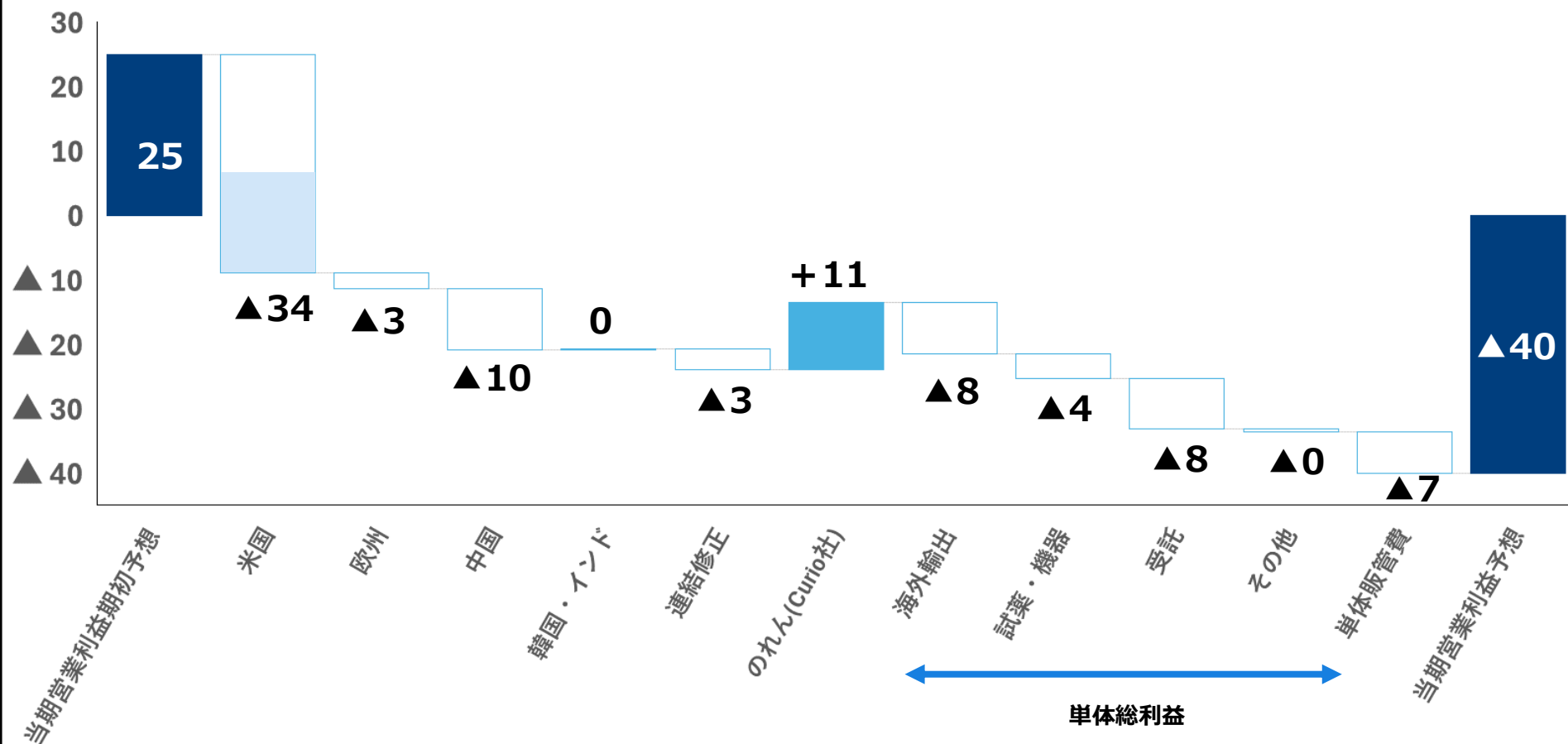
遺伝子解析/検査関連受託：上半期のゲノム解析受託などの減収の影響が大きく、未達の見込

遺伝子医療：大口顧客のRetroNectin®需要減は見込んでいたものの、さらなる拡販に至らず未達の見込

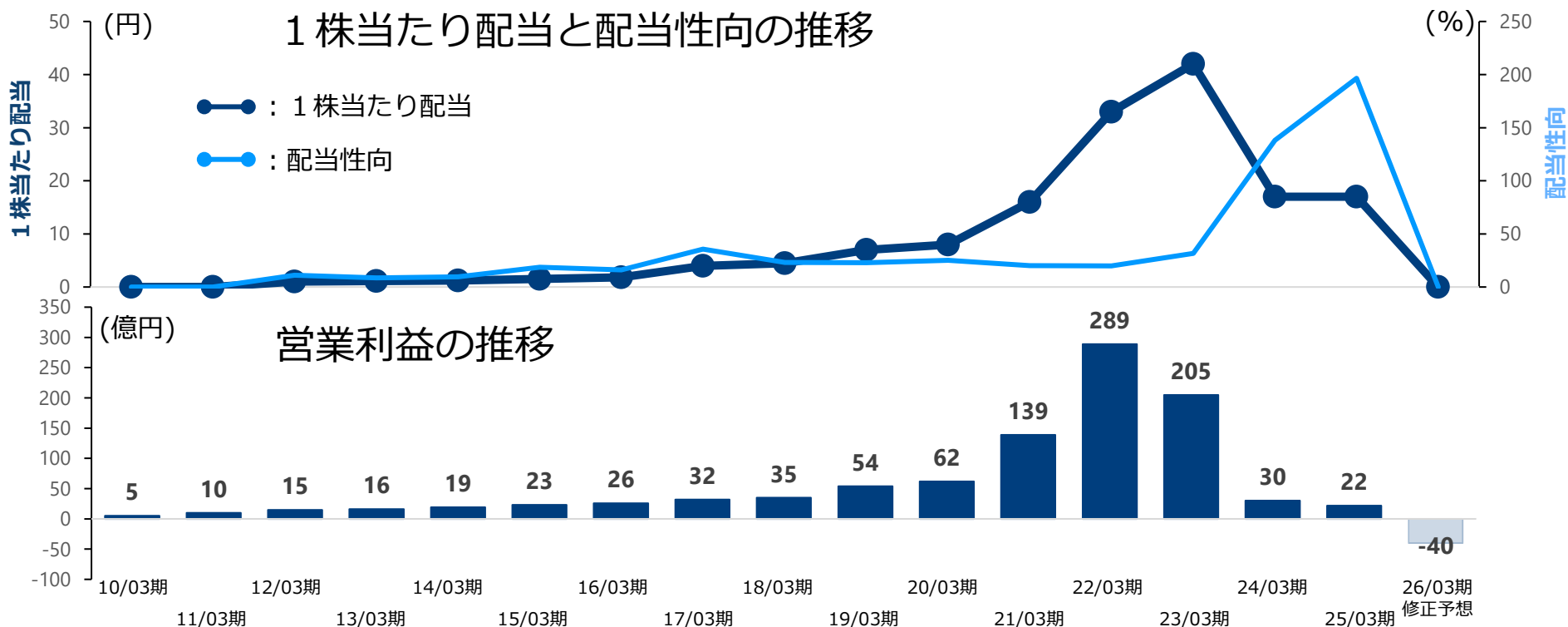
営業利益増減要因分析（期初予想比）

（億円）

■ : Spatial製品



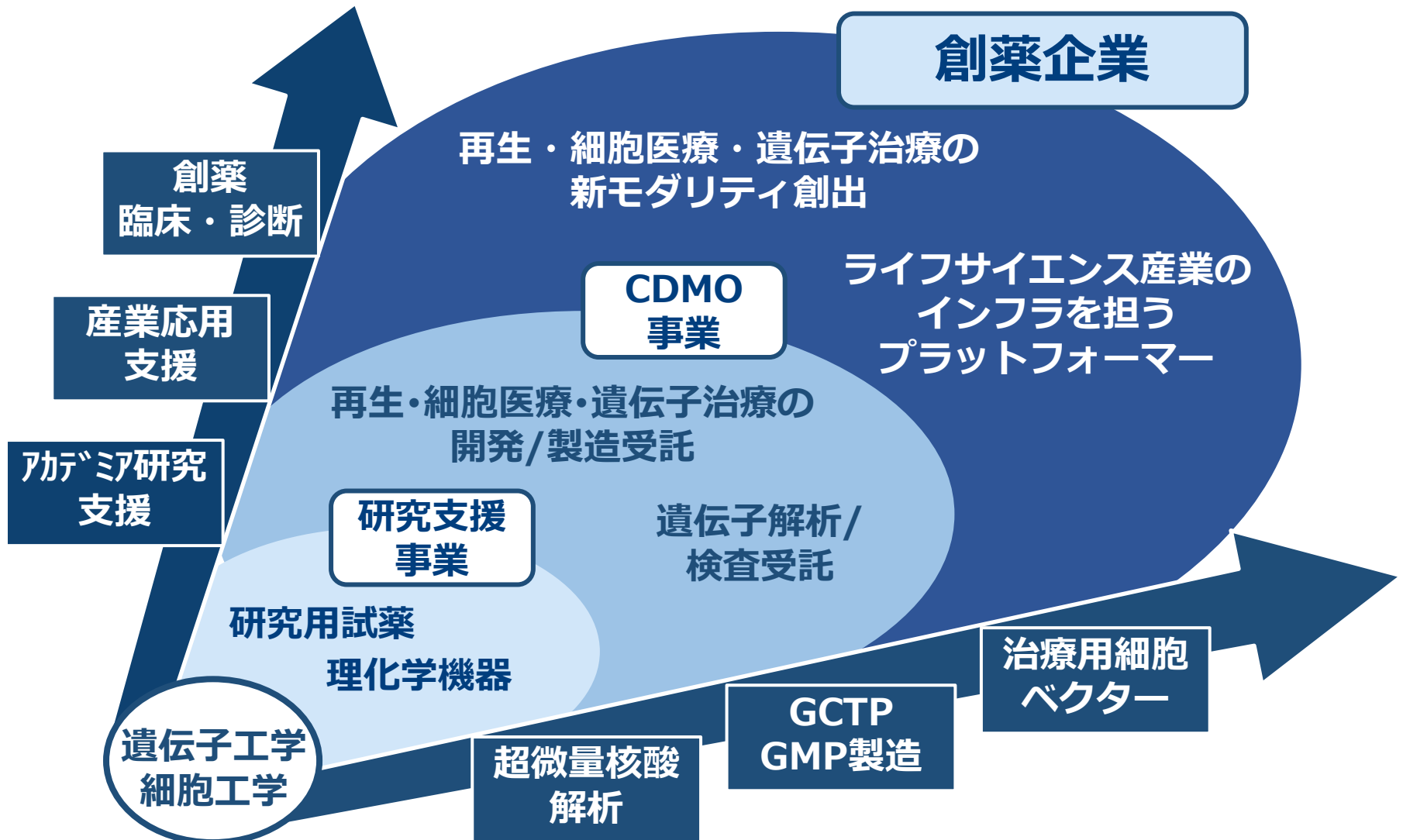
株主還元について



配当方針

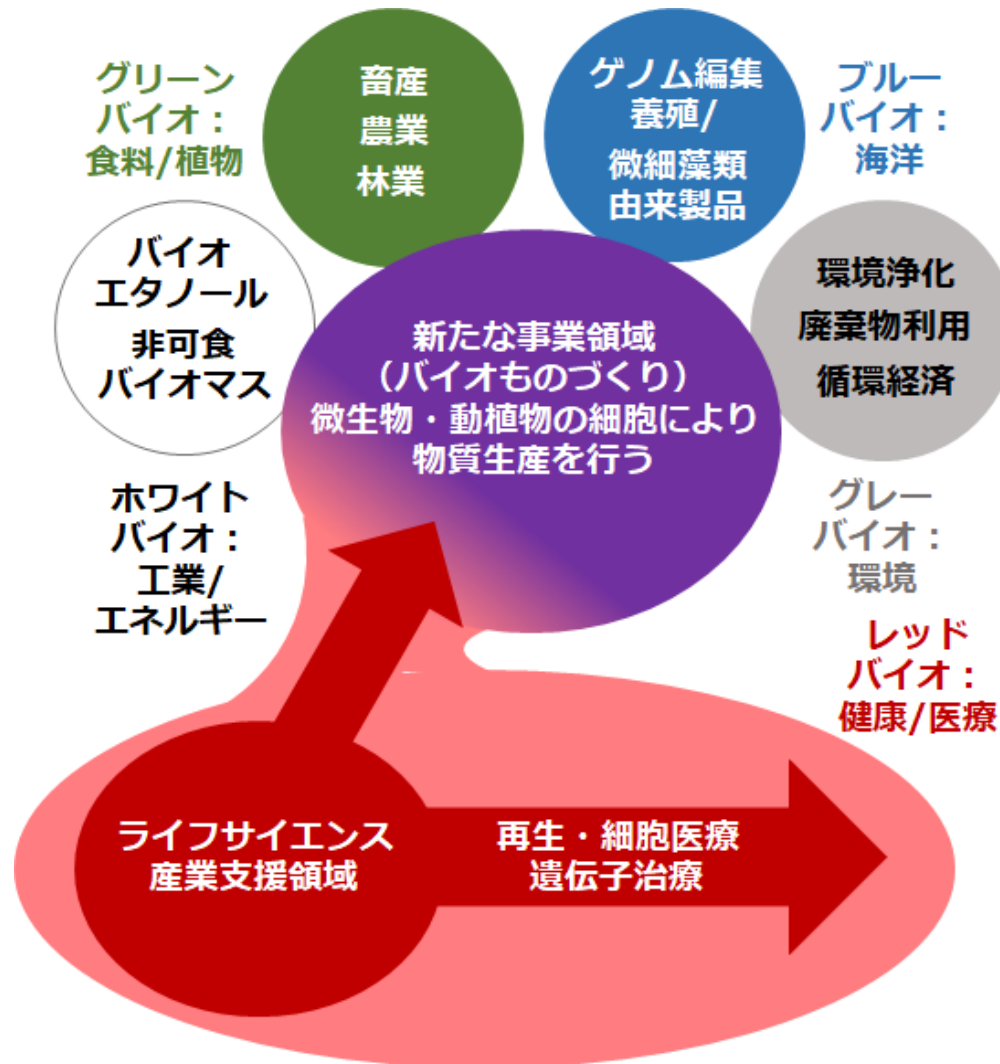
当社は、研究開発活動を積極的に実施していくため内部留保の充実に意を用いつつ、株主の皆様への利益還元についても重要な経営課題と位置づけ、経営成績および財政状態を総合的に勘案して利益還元を実施していくことを基本方針としています。2023年度より、連結財務諸表における特別損益を加味せず算出された想定当期純利益の35%を目途としています。

研究支援事業とCDMO事業を両輪に 新モダリティを創出し続ける創薬企業を目指す



「タカラバイオグループ長期ビジョン2050」

Human Health から Planetary Health へ活動領域を広げる



全産業のバイオ
トランスフォーメーション
をチャンスと捉え
コアコンピタンスであるDNA力：
超微量の遺伝子/細胞を
解析する技術と
高機能/高品質な
遺伝子/タンパク質/細胞を
大量に製造する技術を駆使し
従来の健康/医療分野のみならず
地球規模の社会課題の解決に
貢献する分野へ活動領域を広げ
バイオモノづくりなどの
新規事業を生み出しつつ
既存事業も深化させ
クォンタムリープを実現していく
タカラバイオグループの
未来への羅針盤

将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問合せ先：広報・IR部

E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp

参考資料

- ・ 中間期 連結業績
- ・ 下半期 連結業績 予想（修正）
- ・ 通期 連結業績 予想（修正）
- ・ 中間期 カテゴリー別売上高
- ・ 下半期 カテゴリー別売上高 予想（修正）
- ・ 通期 カテゴリー別売上高 予想（修正）
- ・ 試薬 外部売上高（地域別） 予想（修正）
- ・ 試薬 外部売上高（上下期別） 予想（修正）
- ・ 会社別業績 中間期実績 通期予想（修正）
- ・ 為替レート（実績・予想）
- ・ 遺伝子医療事業：TBI-1301プロジェクトNY-ESO-1・siTCR® 遺伝子治療について

中間期 連結業績

(百万円)	26/03期 中間期	前期比		5/13前回予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
売 上 高	18,794	▲963	▲4.9%	▲2,505	▲11.8%
売 上 原 価	8,230	+917	+12.5%	▲684	▲7.7%
売 上 総 利 益	10,564	▲1,880	▲15.1%	▲1,820	▲14.7%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	12,907	+878	+7.3%	▲927	▲6.7%
営 業 利 益	▲2,342	▲2,759	-	▲892	-
経 常 利 益	▲2,485	▲3,034	-	▲1,055	-
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	▲6,911	▲7,424	-	▲5,591	-

下半期 連結業績 予想（修正）

(百万円)	26/03期 下半期	前期比		5/13前回予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
売 上 高	23,305	▲1,976	▲7.8%	▲7,894	▲25.3%
売 上 原 価	11,978	+319	+2.7%	▲1,581	▲11.7%
売 上 総 利 益	11,327	▲2,295	▲16.8%	▲6,313	▲35.8%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	12,984	+1,208	+10.3%	▲706	▲5.2%
営 業 利 益	▲1,657	▲3,503	-	▲5,607	-
経 常 利 益	▲1,914	▲3,957	-	▲5,844	-
親会社株主に帰属する 半 期 純 利 益	▲2,088	▲2,617	-	▲4,708	-

通期 連結業績 予想（修正）

(百万円)	26/03期 通期予想	前期比		5/13期初予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
売 上 高	42,100	▲2,939	▲6.5%	▲10,400	▲19.8%
売 上 原 価	20,208	+1,236	+6.5%	▲2,266	▲10.1%
売 上 総 利 益	21,891	▲4,175	▲16.0%	▲8,133	▲27.1%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	25,891	+2,087	+8.8%	▲1,633	▲5.9%
営 業 利 益	▲4,000	▲6,263	—	▲6,500	—
経 常 利 益	▲4,400	▲6,992	—	▲6,900	—
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	▲9,000	▲10,041	—	▲10,300	—

中間期 カテゴリー別売上高

(百万円)	26/03期 中間期	前期比		5/13期初予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
試 薬	14,272	▲1,133	▲7.4%	▲1,746	▲10.9%
機 器	402	▲23	▲5.6%	▲292	▲42.1%
受 託	2,546	271	+12.0%	▲477	▲15.8%
再生医療等製品	1,622	658	+68.3%	+6	+0.4%
遺伝子解析／検査	731	▲336	▲31.5%	▲481	▲39.7%
そ の 他	192	▲49	▲20.6%	▲2	▲1.3%
遺 伝 子 医 療	1,573	▲78	▲4.7%	+10	+0.7%
売 上 高 合 計	18,794	▲963	▲4.9%	▲2,505	▲11.8%

下半期 カテゴリー別売上高 予想（修正）

(百万円)	26/03期 下半期	前期比		5/13期初予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
試 薬	15,459	▲1,130	▲6.8%	▲5,625	▲26.7%
機 器	678	▲66	▲9.0%	▲394	▲36.7%
受 託	5,699	▲139	▲2.4%	▲1,480	▲20.6%
再生医療等製品	2,695	▲442	▲14.1%	▲1,405	▲34.3%
遺伝子解析／検査	2,868	+348	+13.8%	+0	+0.0%
そ の 他	135	▲45	▲25.0%	▲75	▲35.7%
遺 伝 子 医 療	1,466	▲639	▲30.3%	▲394	▲21.2%
売 上 高 合 計	23,305	▲1,976	▲7.8%	▲7,894	▲25.3%

通期 カテゴリー別売上高 予想（修正）

(百万円)	26/03期 通期予想	前期比		5/13期初予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
試 薬	29,731	▲2,263	▲7.1%	▲7,371	▲19.9%
機 器	1,081	▲90	▲7.7%	▲686	▲38.8%
受 託	8,245	+132	+1.6%	▲1,958	▲19.2%
再生医療等製品	4,318	+215	+5.2%	▲1,399	▲24.5%
遺伝子解析／検査	3,600	+11	+0.3%	▲481	▲11.8%
そ の 他	327	▲95	▲22.5%	▲77	▲19.2%
遺 伝 子 医 療	3,040	▲717	▲19.1%	▲383	▲11.2%
売 上 高 合 計	42,100	▲2,939	▲6.5%	▲10,400	▲19.8%

試薬 外部売上高（地域別） 予想（修正）

	(百万円)	26/03期 予想	前期比			期初予想比(5/13)		
			増減	うち為替 影響額	増減率 (為替影響除く)	増減	うち為替 影響額	増減率 (為替影響除く)
日本	上期	2,771	+73	0	+2.7%	▲ 381	0	▲12.1%
	下期	3,784	▲ 16	0	▲0.4%	▲ 496	0	▲11.6%
	通期	6,555	+57	0	+0.9%	▲ 877	0	▲11.8%
米国	上期	6,844	+63	▲ 182	+3.6%	▲ 701	▲ 27	▲8.9%
	下期	6,421	+323	▲ 204	+8.7%	▲ 2,751	▲ 116	▲28.7%
	通期	13,265	+386	▲ 386	+6.0%	▲ 3,452	▲ 143	▲19.8%
欧州	上期	1,756	+110	▲ 23	+8.1%	▲ 37	43	▲4.5%
	下期	2,033	+267	75	+10.8%	▲ 302	137	▲18.8%
	通期	3,789	+377	52	+9.5%	▲ 339	180	▲12.6%
中国	上期	1,927	▲ 1,386	▲ 58	▲40.1%	▲ 432	22	▲19.3%
	下期	2,143	▲ 1,805	▲ 67	▲44.0%	▲ 1,835	17	▲46.5%
	通期	4,070	▲ 3,191	▲ 125	▲42.2%	▲ 2,267	39	▲36.4%
韓国	上期	572	▲ 22	▲ 46	+4.1%	▲ 133	▲ 26	▲15.2%
	下期	657	+78	▲ 26	+18.0%	▲ 162	▲ 20	▲17.3%
	通期	1,229	+56	▲ 72	+11.0%	▲ 295	▲ 46	▲16.3%
印度	上期	398	+27	▲ 25	+14.3%	▲ 58	4	▲13.9%
	下期	422	+22	▲ 28	+12.4%	▲ 82	▲ 4	▲15.3%
	通期	820	+49	▲ 53	+13.3%	▲ 140	0	▲14.6%
合計	上期	14,272	▲ 1,133	▲ 335	▲5.2%	▲ 1,746	16	▲11.0%
	下期	15,459	▲ 1,130	▲ 249	▲5.3%	▲ 5,625	13	▲26.7%
	通期	29,731	▲ 2,263	▲ 584	▲5.2%	▲ 7,371	29	▲19.9%

試薬 外部売上高（上下期別） 予想（修正）

	(百万円)	26/03期 予想	前期比			期初予想比(5/13)		
			増減	うち為替 影響額	増減率 (為替影響除く)	増減	うち為替 影響額	増減率 (為替影響除く)
上期	日本	2,771	+73	0	+2.7%	▲ 381	0	▲12.1%
	米国	6,844	+63	▲ 182	+3.6%	▲ 701	▲ 27	▲8.9%
	欧州	1,756	+110	▲ 23	+8.1%	▲ 37	43	▲4.5%
	中国	1,927	▲ 1,386	▲ 58	▲40.1%	▲ 432	22	▲19.2%
	韓国	572	▲ 22	▲ 46	+4.1%	▲ 133	▲ 26	▲15.2%
	印度	398	+27	▲ 25	+14.3%	▲ 58	4	▲13.9%
	合計	14,272	▲ 1,133	▲ 335	▲5.2%	▲ 1,746	16	▲11.0%
下期	日本	3,784	▲ 16	0	▲0.4%	▲ 496	0	▲11.6%
	米国	6,421	+323	▲ 204	+8.7%	▲ 2,751	▲ 116	▲28.7%
	欧州	2,033	+267	75	+10.8%	▲ 302	137	▲18.8%
	中国	2,143	▲ 1,805	▲ 67	▲44.0%	▲ 1,835	17	▲46.5%
	韓国	657	+78	▲ 26	+18.0%	▲ 162	▲ 20	▲17.3%
	印度	422	+22	▲ 28	+12.4%	▲ 82	▲ 4	▲15.3%
	合計	15,459	▲ 1,130	▲ 249	▲5.3%	▲ 5,625	13	▲26.7%
通期	日本	6,555	+57	0	+0.9%	▲ 877	0	▲11.8%
	米国	13,265	+386	▲ 386	+6.0%	▲ 3,452	▲ 143	▲19.8%
	欧州	3,789	+377	52	+9.5%	▲ 339	180	▲12.6%
	中国	4,070	▲ 3,191	▲ 125	▲42.2%	▲ 2,267	39	▲36.4%
	韓国	1,229	+56	▲ 72	+11.0%	▲ 295	▲ 46	▲16.3%
	印度	820	+49	▲ 53	+13.3%	▲ 140	0	▲14.6%
	合計	29,731	▲ 2,263	▲ 584	▲5.2%	▲ 7,371	29	▲19.9%

会社別業績 中間期実績 通期予想(修正)

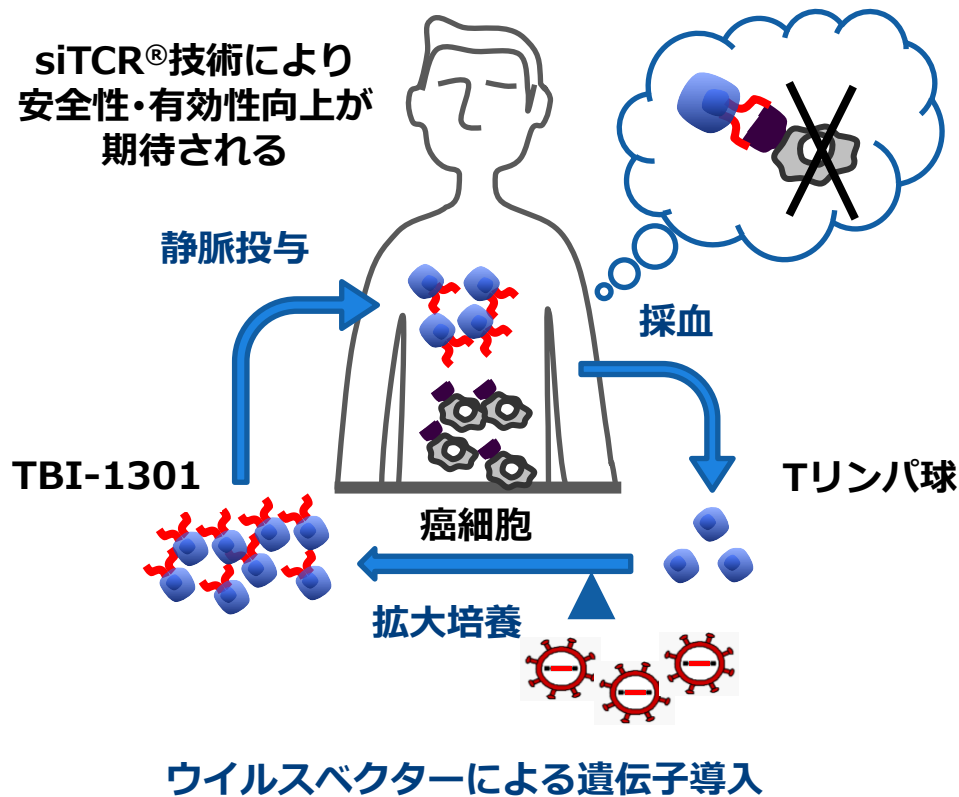
(百万円)	中間期実績		通期予想(修正)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
タカラバイオ (単体)	9,801	▲2,002	24,261	▲2,387
Takara Bio Europe (連結)	2,405	24	4,813	6
宝生物工程 (大連)	1,483	▲39	3,141	▲136
宝日医生物技術 (北京)	2,516	20	5,191	15
Takara Korea Biomedical	645	84	1,433	182
DSS Takara India	424	46	884	97
Takara Bio USA	8,486	▲478	16,314	▲1,247

為替レート（実績・予想）

(単位：円)	25/03期 中間期	26/03期 中間期	25/03期 通期	26/03期 通期
	実績	実績	実績	予想
米ドル	152.36	148.41	151.69	147.40
ユーロ	164.69	162.25	164.04	166.60
人民元	21.06	20.44	21.03	20.40
100ウォン	11.27	10.42	11.12	10.50
インドルピー	1.83	1.72	1.81	1.70
ポンド	192.78	192.61	193.83	194.80

遺伝子医療事業：TBI-1301プロジェクト NY-ESO-1・siTCR[®]遺伝子治療薬について

TBI-1301が癌細胞を認識し攻撃



検証的試験の概要

治験課題名	NY-ESO-1抗原陽性滑膜肉腫に対するTBI-1301（一般名：mipetresgene autoleucel；Mip-cel）の多施設共同試験
治験の相	第Ⅲ相
対象疾患	外科的切除が不能な進行または再発滑膜肉腫
治験デザイン	非対象・多施設共同
目標症例数	5例

臨床試験の情報：

日本語 jRCT番号：jRCT2073250089
英語 ClinicalTrials.gov番号：NCT07174427